

幸せだより



第17号

学校教育目標

よく学び よく遊ぶ子

令和元年九月二十四日

自分の力を高めて

「明るい掛け声でハイタッチ。」

「縄とびで失敗しても続けて跳びます。」

渡邊教諭の指示がグラウンドに響いています。子どもたちは、その指示

に応えるように真剣に練習を重ねています。総合



体育祭の学校演技の練習は、回を重ねるごとに完成度が高まっています。

今年十月の祝日の関係で、例年より二週間ほど早く総合体育祭が行われます。子どもたちは九月に入って残暑

が厳しい中、練習を開始させました。学校演技は五月の運動会でも披露をしました。が、さらに個人の技の技能向上や、集団で創り上げる美しさを目標に取り組んでい



ます。

一方、陸上練習

も中学校のグラ

ウンドを借りて

の練習が始まり

ました。今までは

基礎練習が主で

したが、広いグラ

ウンドでは記録

も確実にとるこ

とができます。子

どもたちは少し

でも自分の記録を

伸ばそうと、努力を

しています。朝練習

が終わると汗びっ

しりですが、その

後すぐに委員会活

動をしている子ど

もいます。その姿

は責任感にあふれ

ています。十月八日

の総合体育祭が、秋晴れの下に開催されることを願っています。



学校生活のようす

読書感想文市内コンクール代表 (市内審査結果のお知らせ)

- 【1年】 栗山 志龍
「もぐらたちがいきていけますように」
書籍 もぐらはすごい
- 【2年】 安楽 晴希
「ぼくの学校はどきどきしているかな」
書籍 がっこうだってどきどきしている
- 【3年】 黒田 桃花
「教室でのわたし」
書籍 教室はまちがうところだ
- 【4年】 福井 輝
「言えない気持ち」
書籍 かみさまにあいたい
- 【5年】 高御堂 晃介
「協力の心」
書籍 十五少年漂流
- 【6年】 岡村 晃太郎
「勇気あるぼくになる」
書籍 かべのむこうになにがある？

学校代表に選ばれたお友達の作品は、この後図書室前に掲示します。学校に来校されたときには、ぜひ図書室前をご覧ください。

プログラミングの授業

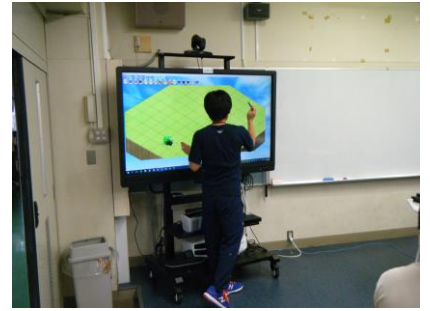


2020年より、学習指導要領が完全実施となり、小学校の学習内容に「プログラミング教育」が入ります。本校では今年度よりプログラミング教育について、職員の研修を行い、子どもたちの授業にも取り入れています。

この日は、情報主任の富田教諭が6年生に授業を行いました。プログラミング教育というと、とても難しいように思われがちですが、どの教

科でも、発達の段階に即して「筋道立てて思考し、物事を解決する」ような、プログラミング的思考を育てるよう取り組んでいます。

この日は、実際にロボットを動かすための指令を、どのようにすればよいかを考えながら、子どもたちは学習を進めました。一つでも指示が誤ってしまうと、ロボットは思うように動きません。そこで「なぜだろう」と思考し、「どのようにすれば動くか。」と再度活動を試みます。課題の解決に向けて、粘り強くやり抜こうとする力も培われます。八千代市は情報教育がたいへん進んでいます。ぜひ、お子様にどのような学習をしているのか聞いてみるのも良いですね。



一本の樹・歌声集会



20日(金)に歌声集会が行われました。この日は、1年と6年、2年と5年、3年と4年のようにペア学年で一緒に並びました。始めは7月の今月の歌「山のごちそう」を、ペアで手拍子を入れながら楽しく歌いました。「一本の樹」

の合唱は、それぞれの学年が自分の旋律をしっかりと響かせ、とても美しいハーモニーが生まれました。

